

OES005-P14

会場:コンベンションホール

時間: 5月23日17:15-18:45

## 葱と蒟蒻・ジオパーク

Shimonita Town is an important and valuable area for geological research.

鈴木 英男<sup>1\*</sup>

hideo suzuki<sup>1\*</sup>

<sup>1</sup>ジオパーク下仁田

<sup>1</sup>geopark simonita

下仁田町は群馬県の西南部に位置し、町域の形状は東西に約18キロメートル、南北約10キロメートルと東西に長く、周囲を、標高1000メートルを越える急峻な山々に囲まれ、総面積のうち約85パーセントが山林及び原野で占められています。

美しい山並みや清らかな溪流など、豊かな自然に恵まれた農山村であり、古くは関東と信越を結ぶ街道により交通の要衝として栄えた歴史ある町です。

人口は、昭和30年の町村合併当時2万人余りあったが、農林業、養蚕業などの衰退に伴い減少し、現在は9106人（平成22年1月1日異動人口）と半数以下となってしまいました。

現在、下仁田町はジオパーク登録に向けて活動をしています。

下仁田地域は日本列島の地質構造からみると西南日本と東北日本の接点にあたり、日本列島の生いたちを解明する上で重要なカギとなる現象が集中し、古くから地質調査に訪れる人も多く、「日本でも5指に入る貴重な場所」とも言われています。

主なものには、中央構造線にそって九州までつづいている「三波川結晶片岩と秩父中古生層」や日本の地質百選に選定されている跡倉クリップを代表とする「根なし山群」、複雑に入り組み日本列島のつくられた過程を解明するカギと言われる地質構造の「下仁田構造帯」や今から約900万年前に大陥没をおこした「本宿陥没」、厚さ10メートル幅200メートルにもわたる「関東ローム層の大露頭」などがあります。

その多くの地質現象が十数キロメートル以内に密集してあり、まとめて観察できる地域は、他にないと思われます。

また、荒船山や妙義山など不思議な形の山もあり、地質について知識がなくてもジオを体感しながら登山やハイキングをすることもできます。

群馬県には「上毛かるた」という物があり「葱と蒟蒻・下仁田名産」とうたわれています。

現在、下仁田町は「葱と蒟蒻・ジオパーク」をキャッチフレーズにジオパーク登録活動を展開し町内外にPRしています。

平成22年度からは、ジオパーク推進室を廃校になった旧青倉小学校に設置し拠点とするなど、受け入れ態勢もより充実する予定になっております。

今まで下仁田町は、研究者や関係者の間では「興味深い・とても面白い」と言われていましたが、今後は、その面白さを一般の人にも伝えるため、「わかりやすい解説・地元住民のガイドの育成・気楽に参加できるイベント」などを行い、町全体で盛り上げてジオパーク登録に向けて活動していきたいと考えています。

植物の名前を覚えながら登山をしたり、綺麗な川原の石を見つけたりするのも、ジオツーリズムと考えています。

これから陽気も暖かくなり、気楽に参加できるツアー・イベントも用意したいと考えております。

また、ほかにも日本で最初の高原式洋式牧場の「神津牧場」や約45種5,000本桜が妙義山をバックに咲く「さくらの里」・世界遺産の暫定登録となっている「富岡製糸場と絹産業遺産群」の「荒船風穴（屋敷の風穴）や上野鉄道鬼ヶ沢橋梁」などの見どころや蒟蒻手作り体験などの楽しみが沢山の下仁田町に、ぜひご来町ください。心よりお待ちしております。

キーワード:下仁田

Keywords: simonita